

令和4年度 国立市自立支援協議会全体会議事録

【日時】 令和5年(2023年)3月13日(月) 午後6時00分~午後8時00分

【場所】 国立市役所3階 第1・2会議室

【出席者】

(敬称略)

委員氏名	所属	分野	備考
堀江 まゆみ	白梅学園大学 子ども学部発達臨床学科	学識経験者	オンライン参加
北本 まさこ 雅子	しょうがいしゃ・しょうがいしゃ団体等関係者	市民	
はが ひろゆき 芳賀 弘幸	しょうがいしゃ・しょうがいしゃ団体等関係者	市民	
あらい ゆみ 新井 ゆみ	国立市医師会	医療関係者	
まつだ しゅうへい 松田 周平	国立市社会福祉協議会	福祉関係者	
ほしの だいすけ 星野 大輔	当事者・家族	しごと部会代表	
ふるはた まさゆき 古旗 真幸	たまぶらねっと	地域交流部会代表	

※傍聴者 2名

【事務局・・・各部会】

(敬称略)

氏名	所属	分野	備考
おくさこ まりえ 奥迫 真理恵	たましゅうろていきょうかい 多摩棕櫚亭協会なびい	しごと部会事務局	オンライン参加
やまじ けいこ 山地 圭子			
しらかわ かよこ 白川 加世子	かいゆう そうだんしえんえがしろん 相談支援エプシロン	あんしん部会事務局	
しのはら ゆみ 篠原 由美	ふくしきぼーとらいん 福祉サポートライン ・ くにたち	とうじしやぶかいじむきょく 当事者部会事務局	オンライン参加
なかね ひでき 中根 英樹			
いちかわ きょうご 市川 享吾	たきのがわがくえん 滝乃川学園 そうだんしえんせんたー 相談支援センターみなも	ちいきこうりゅうぶかいじむきょく 地域交流部会事務局	
すずき さえ 鈴木 サエ			
こいけ まこと 小池 誠			

【事務局・・・しょうがいしゃ支援課】

氏名	所属・役職等
せき ともより 関 知介	かちょう 課長
おさだ たけし 長田 健	てあて きゅうふかむちょう 手当・給付係長
せきね よしや 関根 義矢	そうだんしえんかかりちょう 相談支援係長
いしかわ りゅういちろう 石川 隆一郎	そうだんしえんかかりしゆさ 相談支援係主査
あいば ひさし 餐場 久	そうだんしえんかかり とうじしやぶかいたんとう 相談支援係 当事者部会担当
まの まなぶ 真野 学	そうだんしえんかかり ぶかいたんとう 相談支援係 しごと部会担当
よしかわ なおきよ 吉川 直澄	そうだんしえんかかり ぶかいたんとう 相談支援係 しごと部会担当
やました のりこ 山下 紀子	そうだんしえんかかり ぶかいたんとう 相談支援係 あんしん部会担当
いわさき ともみ 岩崎 智美	そうだんしえんかかり ちいきこうりゅうぶかいたんとう 相談支援係 地域交流部会担当

【事務局】 これからいらっしゃる委員の方もいるかもしれませんが、あと、会長がお仕事で海外に
いらっしゃるということで、つながらないところもあるかもしれません。接続しましたら、御挨拶を
いただければと思いますので、それまで事務局のほうで進行させていただければと思います。よろし
くお願いいたします。

次第1の挨拶は、会長に来ていただけましたら御挨拶していただければと考えてございます。

まず、資料を机上にお配りしておりますので、資料の確認からさせていただければと思います。

まず、1枚目、A4の会議次第を御用意させていただいております。2枚目が、本日の委員名簿で
す。それから、地域交流部会の活動報告を入れさせていただいております。A4縦、しごと部会の資料
です。それから、資料1として、自立支援協議会体系図（案）のたたき台です。資料2として、個別
課題の抽出シートです。資料3として、令和4年度から令和5年度のスケジュールイメージについ
て（案）になります。

本日配付しております資料については以上になります。足りないものはございますでしょうか。あ
りましたらお申し付けいただければと思います。よろしいでしょうか。

今オンラインで参加いただいているのが、なびいの方、それからC I Lの方ですけれども、音は届い
ておりますでしょうか。届いていない方がありましたら、御確認いただければと思います。よろしく
お願いいたします。

それでは、次第に沿って進行をさせていただければと思います。

議題2の①令和4年度の専門部会の活動報告になります。令和4年度の専門部会の活動報告を

かくぶかい おも
各部会からいただければと思います。

それでは、ちいきこうりゅうぶかい ごほうこく にゆりよく ねが
地域交流部会から御報告いただいてもよろしいでしょうか。マイク入力をお願いします。
す。

いいん ちいきこうりゅうぶかい ごほうこく ちいきこうりゅうぶかい こんねんど かい
【委員】 地域交流部会です。御報告させていただきます。地域交流部会は、今年度4回、ハイブ
リッド形式で行いました。けいしき おこな さくねんど ちいきこうりゅうぶかい とりくみ すこ ごせつめい
リッド形式で行いました。昨年度の地域交流部会の取組から少し御説明させていただきます。

さくねんど かいちょう ごきょうりよく もと しゃかいてき お つみ と も
昨年度は、会長の御協力の下、社会的なトラブルを起こしたり、罪に問われたしょうがいを持つ
かた くにたちしな い じっだいちょうさ かいちょう けんきゅうひ かつよう しな い
方について、国立市内の実態調査をするということで、会長の研究費を活用させていただいて、市内
しよ じぎょうしょ と けっか もと こんねんど と
90か所の事業所にアンケートを取りました。その結果を基に、今年度どうしていくかということに取
り組みました。

だい かいめ ちいきこうりゅうぶかい よさん けっか こうえんとう
第1回目については、地域交流部会として予算がついていないので、この結果を講演等をした
い はなし で ころえん よさん はなし あ さいど かいちょう
話が出たのですが、なかなか講演する予算がないということで話し合ったところ、再度、会長
かいちょう けんきゅうひ なか よさん た かろう はなし
から、会長の研究費の中から予算立てすることも可能ですという話をいただきながら、どうして
いくかというのをとく
取り組んでできました。

だい かい こんご ほうこうせい ちいきこうりゅうぶかい かいちょう けんきゅう と
第2回については、今後の方向性として、まず地域交流部会として、会長がずっと研究として取
り組んでいらっしゃるキーブセーフということについて、まず、ぐたいてきないよう
のを知りたいねという話が出て、まずはわたしがわたくし し こ だい だん しえんしゃ
知っています、その後、第2弾として、支援者のアンケートを取った市内の事業所の方に、こうい
と しな い じぎょうしょ かた しえんほうほう かんが かた
った市内の事業所の方に、こういった支援方法だったり、こういった考え方があるとい
うような場をつくれたらなということと、だい だん さき しみん かた つた
第3弾として、その先にいる市民の方にお伝えできたらな

というのが、第2回の方向性として話し合ったところでした。

第3回に、第2回で話し合ったまず私たちがキープセーフという取組をしようということで、

滋賀県で実際キープセーフの取組をされている方2名の方をお迎えして、研修をオンラインでしてい

ただきました。実際、その中で、例えば放課後等デイサービス等で、お子さんが性的なトラブルに巻き

込みやすいとか、実際犯罪に近いことに手を染めてしまっているというような、支援者としてどう関わ

ったらいいんだみたいなことも事例として挙がってきていました。

第4回になるんですが、今後どうしていかうかというところで、ちょっと地域支援協議会自体が体系

変更になる可能性がありますよというところで、地域交流部会は今後どうなるんだみたいな感じで終

わったというところであります。

誰か補足を。

【委員】 しょうがいしゃ家族の人とか、しょうがいしゃに関わるお仕事されている方の中でよく耳に

したのが、しょうがいしゃの子が犯罪の意識が希薄で、これを言ったらセクハラになるとか、そうい

うことがまだ分かっていない子どもたちもいますし、これに関わるとだんだん犯罪に関与していつて

しまうというか、そういう本当にふちにいる子どもたちに対して、職員さんはやっぱり真面目に勉強

してきた方なので、芽を摘むやり方とかも御存じない方もいらっしゃるので、みんなで考えていこ

うというお話で、結構職員さんが胸に秘めていた悩みを少しフォローすることによって、職員さん

も考え方がオープンになっていくし、プラスになっていくということでいいんじゃないかなというこ

とでやっていきました。

ほんとう あんちゆうもさくじょうだい かいちょう かんが かた けんぎゅう ないよう
まだ本当に暗中模索状態なんですけれども、会長の考え方、研究されている内容がとてもすば

らしいので、その辺に引っ張ってってもらっている感じです。地域交流部会としては本当に初めの

いっぽ だ まえむ かい お
一歩なんですけれども、アイデアをみんなで出していこうということで、前向きな会の終わりにはな

ったかなと思います。

じむきょく ちいきこうりゅうぶかい ごほうこく かくぶかい ごほうこく あと
【事務局】 地域交流部会の御報告、ありがとうございました。各部会から御報告いただいた後に、

ごいけん ごしつもん おも ねが
御意見とか御質問をいただければと思いますので、よろしくお願いいたします。

つづ しりょう ぶかい ごほうこく おも
それでは続きまして、資料をいただいておりますので、しごと部会から御報告をいただければと思

ます。よろしくお願いします。しごと部会の担当の方から御報告いただければと思います。よろしく

ねが
お願いします。

いいん ことし ぶかい がつ にち かようび かいめ おこな てんけんそうかつあん
【委員】 今年のしごと部会が、2月14日の火曜日に1回目を行いまして、おしごと点検総括案に

じむきょくちょう たいけんしゃすう しゅうけい かんせいばん がつ じりつしえんきょうぎかい ぜんたいかい
ついて、事務局 長より、おしごと体験者数を集計し、完成版を3月の自立支援協議会の全体会に

ていしゅつ ほうこくよてい ぜんたいかいさんかいいん りっこうほ にん いいん けてい
提出、報告予定です。全体会参加委員は立候補4人により、委員に決定しました。

いけんこうかん じょうほうこうかん ぶかい たいけん つう かたち
意見交換、情報交換、しごと部会、おしごと体験を通じてできたネットワークについては、形は

か こんご けいぞく たいけん かん こんご くにたち しゅうろうしえん
変わりますが、今後も継続していくおしごと体験に関しては、今後は国立しょうがいしゃ就労支援セ

しゅうじゅく み けいぞく くにたち しゅうろうしえん ちいき
ンターが習熟を見ながら継続していきます。国立しょうがいしゃ就労支援センターのみで、地域

かいたく うけい さぎょうじょ おこな こんなん こんご ぶかい つちか
開拓や受入れ作業所を行っていくことは困難であるため、今もしごと部会で培ったネットワーク

い かくしぎょうしょ きょうりょく いらい どうじしゃ たよう はたら かた おうえん
を生かし、各事業所などには協力を依頼することです。当事者の多様な働き方を応援していくため

ぶかい さんかしゃ ちゅうしん しごと しゅうろう かが じぎょうしょどうし ていきてき あつ おこな
にも、しごと部会の参加者を中心とした仕事、就労に関わる事業所同士で定期的な集まりなどを行

つていく予定です。3月の自立支援協議会全体会に参加する委員は、立候補で委員に決定、その他告知

など、しょうがいしゃ就労支援センターの企画紹介について、事務局よりお願いします。

【事務局】今年度は、しごと部会は2月14日に1回だったので、今、委員が報告してくださいま

した。しごと部会としましては、今日、皆様のお手元にお配りしたおしごと体験というのが、部会が

始まって以来のやってきたことの1つの成果となっていて、始まってもう七、八年、動き始めて

から七、八年たっていて、4年目、5年目ぐらいから大分軌道に乗ってきたところがあるので総括

をしましょうというところで、総括をしたのがこちらのプリントに書いているところです。

2ページ目に、どんな方が、どこでどれだけのことをやってというところで、件数としては書かれ

ていますけれども、この部会においては、そもそもこの地域の課題というところできり組んできた

ころなんですけれども、その中では1ページの真ん中よりちょっと上のところに書いたんですけれど

も、気軽に仕事を体験できる仕組みがあったらいいですか、それから、支援者からどうやったら支援

が届くのかといった意見、そして、平成18年の自立支援法の施行以降、以前はあった社会資源の緩や

かな横のつながりが分断されてしまっているという、そんな課題が当初あって、いろいろ皆さんで議論

を重ねてこういった形になったということです。

それで、最後のページに、まとめとして書きましたけれども、このおしごと体験の仕組みは、何か

固定の制度ではなくて、例えば就労系の福祉サービスを利用している事業所の方が、施設外の訓練と

いう形で利用したりとか、あとは、訓練中じゃない方が、求職中の方が職場の実習として利用し

たりですとか、特別支援学校の学生さんが産業現場実習として利用したりという、そういういろい

ろな制度の枠はあったんですけれども、1つちょっと多様な方々の働き方を応援するという理念とい
うか、そういう形で進めていって、いろんな制度の枠の中でこういう体験をする場ができたという
ことです。

ただ、いわゆるしょうがいしゃという診断がない方が、ないけれども同じような悩みを抱えている
方も多々いて、その方たちのこういう体験ができる場がつかれなかったというところが、引き続きの
課題として感じています。

それで、今回、部会が1回終わりになるということなんですけれども、この部会で残った課題のと
ころと、それから、しごと体験の仕組みをそのまま動かしていくところは、市のほうで就労支援事業
をやっているんで、そちらはバトンタッチをしてやっていくと。ただ、市の就労支援事業だけでは
きないので、地域の皆様にも引き続き協力していただきながらやっていくということで、総括にな
っています。

最後に、就労支援センターが企画する学習会というお話しをしましたけれども、それはちょっと、
今回の部会のまとめのところ、なかなか福祉なりの制度に乗らなくて、なかなか働く体験をできる
場がない方ですとか、そういったところの課題感もあったので、日頃そういった方々の支援に多く取り
組んでいるたすくグループの方をお呼びして学齢期の支援の話をしていただいて、あと我々が成人期
の支援、就労支援をしているので、その辺をお話しして、企画して、意見交換をするということで、
意見交換のほうも、学習会ということでなんですけれども、皆さん、地域の方に参加いただいて意見を出し
ていただいて、それをこれからの市の施策とかに反映していけるような学習会にしたいと考えてい

るところです。

チラシを置いておきますので、帰り際にもよろしかったら持って行ってください。

【事務局】 しごと部会の報告、ありがとうございました。

そうしましたら、続いては、当事者部会の御報告をいただければと思いますが、これは支援者さんから御報告をいただいてもよろしいでしょうか。

【事務局】 よろしくお願ひします。当事者部会は、今年度、10回の部会と1回の市の職員に対する研修を行いました。コロナ禍で集まらない間に、人が代わったメンバーもいまして、なかなか研修に出られる当事者がいなくなってしまうということもあって、部会メンバーも募集をして、声をかけて、1人増やしました。聴覚しょうがいの女性の方が参加してくださいました。その方の参加も入れて、1月13日に、合理的配慮とは何か当事者と学ぶという研修を市の職員に向けて行いました。

このときの市のほうの参加者が合計21名。職員の数には14名で、その中で支援課の方が4名、事業者の職員が1名。事業所の職員と当事者の方は、自分たちも勉強したいということで、傍聴というか、見ているだけですけれどもという人たちで、参加してもらいました。

内容は、障害者差別解消法と権利条約についての説明と、国立市のあたりまえに暮らし宣言のお話、あと、実はこの研修に前もって市職員の各課に事前アンケートを行いました。しょうがいのしゃの方が来たときに困ることは何ですかとか、そういうことで事前アンケートを行いました。その中の多くは、困っていることが何だか分からないとか、どういうふうに声をかけたらいいか分からない

いとか、そういう質問が多くあったのですが、そういう質問を受けて、後半はインタビュー形式で、

全員が実際アンケートでもらった質問に、数は少ないんですけども、答えていくという形式を取り

ました。1時間半を過ぎてしまったんですが、受講してもらった方々から、感想のアンケートをもらっています。

一応、よく分かったという方が13名、まあまあ分かったが2名いました。アンケートの中では、

インタビューのときに、しょうがいのある人を目の前にすると引いてしまうとか、そういう質問もあ

ったんですが、それに対して、そういうことを聞くと、しょうがいを持っている側も、ちょっと傷つ

きますみたいな、本音の話なんですけれども、職員も直接会ったり、しょうがいのある人に初めて

接しながら、それが当たり前であることなんだという話も、感想に書いてあったりして、こちらも本音

で答えただけども、感想にも本音で書いてあって、その辺は勉強になったところもあります。そのほ

かに、アンケートは、今後継続してほしいとか、実践の話を、もっとそういう機会があればいいとい

うアンケートもありました。

やった方たちも、自分のことを話すとか、そういう機会にもなったし、やっぱりみんないろんな人に

しょうがいの話を分かってほしい、聞いてほしいというのもあって、今後、どうやってこの研修を

続けていく方法があるかというところで、今、模索しています。

【事務局】当事者部会の報告、ありがとうございました。

それでは、もう一つ、あんしん部会の御報告ということになるんですが、これは市の事務局からさ

せていただければと思います。

あ**いん**し**ん**部**会**につ**き**ま**し**ては、**新**しい**活**動**を**今**年**度**に**つ**い**ては**行**っ**て**お**り**ま**せ**ん。ヘル**プ**カー

ドの普**及**で**す**と**か**災**害**対**応**で**す**と**か**、**そ**う**い**っ**た**こ**と**を**や**り**な**が**ら**、**新**た**な**検**討**と**い**う**の**は**ま**だ**で**き

て**い**な**い**と**い**う**と**こ**ろ**に**な**り**ま**す。**そ**れ**も**含**め**て**後**段**の**と**こ**ろ**で**御**説**明**す**る**自**立**支**援**協**議**会**の**見**直**し**

な**ん**か**も**今**年**度**図**っ**て**お**り**ま**し**た**の**で、**そ**こ**の**と**こ**ろ**で**ま**た**改**め**て、**今**後**ど**う**し**て**い**く**か**と**い**う**と**こ

ろ**は**御**報**告**さ**せ**て**い**た**だ**け**れ**ば**と**思**い**ま**す。**あ**ん**し**ん**部**会**の**報**告**は、**今**年**度**活**動**が**な**か**っ**た**と**い**う**

御**報**告**に**な**り**ま**す**。

今、**そ**れ**以**外**の**3**つ**の**部**会**に**つ**き**ま**し**て御**報**告**を**い**た**だ**き**ま**し**た**の**で、**そ**の**部**会**の**御**報**告**に**対**す**る

御**質**問**と**か御**意**見**な**ど**が**あ**れ**ば**い**た**だ**け**れ**ば**と**思**う**ん**で**す**け**れ**ど**も、**皆**さ**ん**い**か**が**で**し**ょう**か。

オン**ラ**イ**ン**で聞**い**て**い**る**方**々**か**ら**も**、何**か**御**意**見**と**か御**質**問**あ**れ**ば**い**た**だ**け**れ**ば**と**思**い**ま**す**が**、**い**
か**が**で**し**ょう**か**。

それ**で**は、**委**員**、**お**願**い**し**ま**す**。

【**委**員】御**報**告**あ**り**が**と**う**ご**ざ**い**ま**し**た**。**そ**の**中**で**1**点**、**も**し**か**す**ると**後**段**に**関**わ**っ**て**く**る**の**か**も

し**れ**な**い**で**す**け**れ**ど**も**、何**部**会**か**忘**れ**て**し**ま**っ**た**ん**で**す**が、**部**会**自**体**が**今**年**で**終**わ**り**と**い**う**よ**う**な**お

話**が**あ**っ**た**か**と**思**う**ん**で**す**け**れ**ど**も**、何**か**そ**の**辺**の**背**景**が**私**は**よ**く**分**か**っ**て**な**く**て**、**部**会**さ**ん**か**ら

か、**事**務**局**さ**ん**か**ら**か**分**か**ら**な**い**ん**で**す**が**、御**説**明**い**た**だ**け**と**。**多**分**ほ**か**の**皆**様**も**そ**の**辺**を**も**し**か**

す**と**御**存**じ**な**い**方**が**い**る**の**か**な**と**思**っ**た**の**で**質**問**さ**せ**て**い**た**だ**き**ま**し**た**。

【**事**務**局**】**後**段**の**見**直**し**の**と**こ**ろ**で**詳**細**は**触**れ**さ**せ**て**い**た**だ**こ**う**と**思**っ**て**い**る**ん**で**す**け**れ**ど**も**、**今**

ま**で**の**4**つ**の**部**会**、**地**域**交**流**部**会**、**し**ご**と**部**会**、**当**事**者**部**会**、**あ**ん**し**ん**部**会**と**4**つ**部**会**で**事**務**局**が**そ

れそれ入^{はい}って活動^{かつどう}をしていたところになりますけれども、それぞれとこ^{さまざま}ろで様々な活動^{かつどう}をしながら、

今^{いま}言ったように、新^{あら}たな活動^{かつどう}につながっていないところもありましたので、事務局^{じむきょく}会議^{かいぎ}のほうで確認^{かくにん}を

して、部会^{ぶかい}の在り方^あの見直し^{かた}を令和^{れいわ}4年度^{ねんど}かけて、それぞれの部会^{ぶかい}で活動^{かつどう}いただいているところと並行^{へいこう}

して進^{すす}めさせていただいております。

その辺^{へん}のところを、議題^{ぎだい}②で御説明^{ごせつめい}したいと思^{おも}いますが、部会^{ぶかい}に代^かえて、ワーキンググループのよ

うな形^{かたち}を今^{いま}考^{かんが}えております。ワーキンググループにするにはどうすればいいかという課題^{かだい}について

は、地域^{ちいき}の中^{なか}からいろいろな方^{かた}にいろいろな御意見^{ごいけん}をいただ^{いだ}いて、それを新^{あら}たな課題^{かだい}にして、それをテ-

マにした議論^{ぎろん}ができるような形^{かたち}を今^{いま}考^{かんが}えているところになります。それについては、議題^{ぎだい}の②で改^{あらた}

めて御説明^{ごせつめい}を差^さし上げたいと思^{おも}います。

よろしいでしょうか。

【委員】 おしごと体験^{たいけん}の総括^{そうかつ}が、すぐきっちりとパンフレットができていてすばらしいと思^{おも}っ

て読^よませていただきました。おしごと体験^{たいけん}で受け入れた事業者^うさんの声^いとかも、少し感^じじる場面^{かん}もあ

るんですけども、こちら^{とお}を通して就^{しゅう}職^{しょく}には至^{いた}らなかった感^{かん}じですか。

【事務局】 おしごと体験^{たいけん}を受け入れたところ^うでということでしょうか。

【委員】 まだ体験^{たいけん}で終わ^おっていて。

【事務局】 受け入れた会社^うとかでの雇用^{かいしゅ}につながらなかったかと。それでいいますと、利用者^{こよう}の内訳^{りようしゅ}

を見^みたときに、こちら^かのまとめ^{しゅうろ}には書^いいていないんですけども、就^{しゅう}労^{ろう}継^{けい}続^{ぞく}支^し援^{えん}のB型^{びーがた}、A型^{えーがた}、それ

から就^{しゅう}労^{ろう}移^い行^{こう}支^し援^{えん}の事業^{じぎょう}所^{しょ}に日^ひ頃^{ころ}通^{つう}所^{しょ}している方^{かた}がほとん^かどだったんですね。そのような関係^{かんけい}で、

就 職 に向けていろいろ活動だったりしている最中の方が利用したケースが多かったので、直接と
いうのにはあまりつながらなかった。

ただ、NHK学園さんでは、おしごと体験を何件か受け入れて、それでその方たちの仕事ぶりなん
かを見て、その中でもお給料を払って大丈夫なぐらいな仕事をしてくれる方もいたので、じゃ、ア
ルバイトの方も募集しましょうということで、何人かはアルバイトの採用、雇用にもつながっていま
す。

【委員】 よかったですね。やっぱりA型、B型に通われているけれども、就職まで行くことがな
いし、アルバイトもしたことがないから、やっぱりしょうがいしゃ当事者の方とかは不安があると思う
んですね。1人でしばらく通うということに対して。例えば3か月とか1か月でもいいですから、ち
よっと職員さんがサポートとか、最初の1週間、2週間、一緒に通ってあげて、だんだん慣れてき
たあたりで、自転車ですら1人で走れる子になったみたいな感じで見守るみたいな形になっていくとい
いかなんかきながら聞いていました。

それと、だから、本当に根づいてきている感じがして、そういうのもうれしいですね。

【事務局】 さっき言ったように、日常的に就労の訓練とかに通っている方が、職員の方なんか
3か月間ぐらいついてくれるような、実際につくかどうかあれですけども、イメージとしては、仕事
を探している方に寄り添って就職から就職後のところまで見るというのがあるんですけども、そ
こはあるにはあるんですけども、やっぱり外で初めて出てやるというときに、こういう場所がある
といいなということと、そこにもやっぱり職員の方が付き添ってやってくれるという、サポートし

ながらやっていくような、そういう日常的にあるしょうがい福祉サービスの制度と一体となつてうまく活用というか、回つてくといいなとは思っています。

【委員】 会社も8時間いてほしいわけじゃなくて、例えば3時間とか、本当短い期間で、例えばタオルを重ねるだけの仕事ですとか、ちょっと簡単なんだけれども、社員やアルバイトがやるにはすごく負担になる量の仕事ってあるんですよ。例えばホテルのタオルを畳んで置いておく係とか、そういった部分の仕事を見つけていく作業もこれからあると面白いのかななんて、事業者さんと相談しながら見つけていって、しょうがいしゃの方にも、片手間なお仕事で、最初体験という形でやっていってもらえたらいいのかななんて思って、前向きに見させていただきました。ありがとうございます。

【事務局】 前向きに考えたいと思います。94名の方がこれを利用されているんですけども、受け入れたところが4か所というのだと、ちょっとやっぱり少ないなというところなんで、もうちょっとたくさんの方に受け入れていただけるように、企業さんに声をかけたりとかということしてほしいと思います。

【委員】 地域交流部会の中でもやっぱり話が出てきて、少しだけでも自信がしょうがいしゃの中であると、少し前に進んでいくと。しょうがいしゃが明るくなってくると、家族も救われるという、どんどんどんどんいいことが増えていくので、それぐらいになるといいなと思いました。ありがとうございます。

【事務局】 ありがとうございます。ほかはいかがでしょうか。

【委員】 今しょうがいしゃ部会の実習先で、社協もぜひ使っていて、今使っているんでし

たか。あまりないんですか。

ぜひいろいろなお仕事自体はある、作業があると思いますので、今後おっしゃっていただければと

思います。それが1点です。

あと、地域交流部会のキープセーフの考え方というところで、今後市民という話もあったんです

が、私はあまり不勉強で、どういう概念というか、どういうものなのか、もし教えていただけるとあ

りがたいなと思いました。

【委員】 ちょっと説明が足りなくて申し訳なかったです。手元に資料がなくて概略しか御説明でき

なくて申し訳ないんですが、キープセーフ自体は、例えば物をどうしても取ってしまう利用者さんが

いて、それはコンビニとかお店もそうですし、施設内でも、ほかの人のを取ってしまう。そうすると、

スタッフが「これは駄目でしょう」と言うと、「分かりました」言うけれどもまた同じことを繰り返し

てしまう方は、これは小さなことですけれども、いろんなことが市内には起きている。ということは、

支援の介入の方法が間違っているだろうと、もっと適切な介入をすれば、「すみません、ごめんなさ

い」と言って、その人が自信をなくしてまたやってしまうという、悪い循環を変えられるのではない

かということからスタートしています。

キープセーフ自体は、イギリスでそういったしょうがいを持った方の支援で効果があるという実証

研究があるものを会長が日本に持ってこられて、日本で広めようとされているんですが、基本的に

は、罰して何々しちやいけないうものではないんですね。やり方として、グッドウェイモデルと

いって、どうしたら自分の人生はよく生きていけるだろうかみたいところからスタートするんです。

たと わいじ みち たい ぶんきてん すす じぶん じんせい
例えばY字の道があって、そのYの分岐点ときに、どちらにどう進んだら自分はグッドウエイの人生を

あゆ ていねい しかく とお
歩めるかみたいなのを、とても丁寧に視覚とかを通してながら、グループワークでつくっていくものな
んですね。

なか かんじょう おんどけい つか なに ぬす おも しんぞう かんじょう
その中で、感情の温度計とかを使って、何かを盗みたいと思ったとき、心臓がばくばくして、感情
たか いま なんと ていねい じぶん じょうきょう わ しく しえん なか
が高ぶっているとか、今、何度とか、とても丁寧に自分の状況が分かるような仕組みを支援の中に
と く だと きいろしんごう あかしんごう なか おも
取り組んでいく。それで、例えばこれは黄色信号だよなとか、赤信号だよなとか、そういった中で、主
ちてき も かた しかく み
に知的的のしょうがいを持った方へのアプローチなんですけれども、そうやって視覚で見えるようにし
ていくとか、あと実際その場を演じてみるとかをやっていくんですね。

けんしゅう う しえんしゃがわ
キープセーフのためには、トレーナー研修を受けるんです。支援者側がそれをやるにはトレーナー
けんしゅう う しない
研修を受けなきゃいけないんですけれども、まずそういったものを、市内でもキープセーフをできる
ひと そだ はなし
人を育てていけたらいいんじゃないかみたいな話をしていたところではあるんです。

いいん かんじょう なに ぬす き けんじょうしゃ ひと たと ともだち けんじょうしゃ ひと み
【委員】 感情とか、何で盗むかと聞くと、健常者の人、例えばお友達とか、健常者の人、見てく
れがきれいな人、どうやっても勝てない人というのがあるかと思うんです。普通の人は、別にそこで
いしき じぶん みが ほうこう い かた
ライバル意識をせずに、自分を磨くとかプラスの方向に行くんですけれども、しょうがいしゃの方は、
どうしてもいらっと来たときに物を盗む、その嫌いな、嫌だなと思った感情の人のものを盗むんです
ね。それで一瞬だけ彼女はすっきりするんです。でも、その後、また罪悪感も発生している。それが
から じょうたい ぬす おも きも わいじ
どんどん絡んでいくような状態になっていて、そこで盗みたいと思った気持ちのときにY字になって
いて、こっちに行くといい道だと、カードでも、先生と話し合っても思っているけれども、この

あかしんごう
赤信号のほうにどうしても行っちゃうところがあるんですね。

そういう子たちと私も以前仕事をしたことがあって、すごく仲よくなれば仲良くなるほど、ふっとしたときに盗まれるんです。それも、たわいもない、ハンカチですとか、缶コーヒーとか、大したことがないものが盗まれるんです。でも、それは彼女にとってやっぱり嫌だった。ちょっと頑張っても私にいらっときてしまった。近しくなればなるほど、憧れだったり、ちょっと嫌だなとか思う感情がどうしても出てきてしまうんですね。それに対しての対応ができない。そういう子たちは結構多いんですね。そういう子たちの気づきになっていくようなプログラムをしていけたらいいんじゃないかなど。

かか
関わるスタッフさんも、ここまで仲よくやってきていたのに、どうして盗むんだらうとか、二重三重にスタッフの方が傷ついていっちゃうんですね。それが随分と変わってくるんじゃないかということ
かいちょう
で、会長がイギリスで学んだことを皆さんに教えてもらっている感じです。

いいん
【委員】 ありがとうございます。

じむきょく
【事務局】 よろしいでしょうか。ほかにいらっしゃるでしょうか。

いいん
【委員】 あと1点だけいいですか。あんしん部会さんがお休みだったということで、次回、発言するのかわからないんですけども、ちょっと情勢的にも不安が伴うことが多いので、例えば地震があったとき、戦争が近づいたとき、例えば紛争なんかは、そういうのをある程度想定して、公園のベンチの蓋を取ると煮炊きができるような台にするとか、そういった小さいことであんしん部会、例えば避難経路をしょうがいしゃの人に分かりやすくする訓練なのちょっと分からないですけども、

それはもうやられているかと思うんですけども、弱者、ベビーカーのお母さん方が避難できるのかとか、そういったこととかを考えた意見と言える会があったりするといいなってちょっと思っています。

【事務局】 ありがとうございます。いろいろ最近の情勢も踏まえたら、不安というところが1つのキーワードになってくるんじゃないかなと思います。後段のところでもまた御説明しますが、そういうところで何か1つのテーマにした検討というか、話し合いとか、いろいろ皆さんに意見をいただいたものをお伝えできるような仕組みが取れるといいかなと、私も事務局としても考えておりますので、また参考にさせていただきたいと思います。

ほかはいかがでしょう。よろしければ、次の議題の説明に入らせていただきたいと思います。また後で、こんなところを聞きかかったところがあれば、お話しいただければと思います。終了時間を午後8時ぐらいと見ております。

それでは、後半の議題の説明に入らせていただければと思います。議題②、国立市自立支援協議会の今後の方向性についてということで、御説明を差し上げたいと思います。

まず最初に、冒頭御案内いたしました資料1、資料2、資料3を基に御説明させていただければと思います。

国立市自立支援協議会、皆様にお集まりいただいている全体会の下に、事務局ということで私も国立市しょうがいしゃ支援課以外に、相談支援事業所さんなどが入った形の事務局というものをつくって、その中に、今言った4つの部会をつくって、それぞれの部会で活動をして報告をしていただ

ているという形かたちでございました。

やはり私わたしどもの中なかでも、同じような部会おなを続けてぶかいいるところもございまして、資料1しりょうの題名だいめいのところにもありますが、国立市の自立支援協議会くにたちしを、課題解決じりつしえんきょうぎかいに向けた体制かたの見直しいかいけつを行いたいというところ

がございまして、私わたしどものしょうがいしゃ支援課しえんかと一緒いっしょに、資料1しりょうの真ん中まにあります事務局じむきょく

会議かいぎを構成こうせいしておりますC I Lさんしーあいえる、なびいさん、エpsilonさんじょうしゅ、みなもさん、この4つの事業者じぎょうしゃの

皆様みなさまと一緒にいっしょ、令和4年度れいわ、昨年ねんどの夏さくねんから見直しなつに向けた議論みなおを行ってまいりました。その中むに今回ぎろんに今おこな回

御提案ごていあんするたたき台だいの案あんをお示しめさせていただきたいと思おもいますので、その御説明ごせつめいをさせていただ

ければと思おもいます。

真ん中まに事務局会議なかがあります。これは今後も形かたちは変わらず、この事務局会議じむきょくかいぎで議論ぎろん、検討けんとうを行ってまいりました。その中なかで、それぞれの全体会ぜんたいかいと事務局会議じむきょくかいぎの役割やくわりを明確化めいかくかするとともに、課題解決かた

に向けた議論むができるような仕組みぎろんをつくってまいりたいと、そのような形かたちで今この体系図いまを見直したいけいずして

きたわけでございます。

一番いちばん大きなところで、課題かたはどこから集めるかというところで、資料しりょうの一番下いちばんしたです。当事者とうじしゃの方かたや

家族かぞくの方かた、相談支援事業所等そうだんしえんじぎょうじょとう、地域ちいきから、個別こべつの課題かたや意見いけんなどを集めたい。それを事務局会議あつの下じむきょくかいぎの

四角しかくの部分ぶぶん、二重丸にじゅうまるで「意見を集める受付窓口いけん」とありますが、名称あつは別途うけつけ考えていきたいと思おもい

ますけれども、これを事務局会議じむきょくかいぎの中なかにおいて常設じょうせつして、意見を集める受付いけんの窓口あつをつくって、例え

ば当事者とうじしゃをキーワードにした参加さんかで人に集まってもらうとか、支援者しえんしゃをキーワードにした参加さんかで集ま

ってもらうとか、そういった形かたちで、様々さまざましょうがいしゃの支援しえんに当たって今いまどういうことが課題かたにな

っているのかというのを、それぞれ個別課題として集めていきたいと考えています。

さまざまな個別課題を集めた中で、これも事務局ですけれども、それを集約して、議論となるテーマを設定して、それを今までは部会という形で議論をする場所をつくってまいりましたが、ワーキンググループという形にして、より課題に沿った議論が柔軟にできるように、例えばワーキンググループですので、ずっとこのワーキンググループを続けるということではございません。その議論で一定程度の結論ができれば違うワーキンググループにしてもいいわけですので、そのような形でワーキンググループの設定にしてみたいと考えているところです。

これを全体会の中でずっと上に行きますと、ワーキンググループのテーマを設定する、設定したテーマについて全体会で御承認いただいて、全体会議としては、自立支援協議会全体の意思決定ということで、例えばワーキンググループの中から検討を進めたことについて、その成果や検討結果について取りまとめて市のほうに意見したりとか、そういったところが全体会の皆さんでできる機能かなとおもっております。

地域の課題をどういうふうを集めるのかというのが、資料2でございます。資料2を見ていただければと思います。これはまだ検討中でございますのでたたき台でございますけれども、困っていることを書き出していただいて、あるとよいものを出していただく。例えば1番目に書いてあるのは、どちらかというと、支援者から出るような意見ですね。コロナ陽性となったときにどうすればいいかと。もう一つ、しょうがい当事者の方、知的の方もいらっしゃいますし、精神、身体の方もいらっしゃいます。様々な方がいらっしゃる当事者の課題というのはもっとシンプルなものになるのではないかと

いはなしお話もありましたので、たと そと で 例ふ かい こ ほう こ く えば外に出たいとか、しごと部会の御報告でもありましたけれども、

自じ ぶん ち から し ごと 分の力いま ま ま で仕事をしたいとか、そういったシンプルな今困っていること、やりたいことというものを

聞き か た ち こ べ つ か だ い いま くというのも1つあるのではないかとということで、こういった形でシンプルに個別課題を、今それ

それ個人こ じん ち いき なか こ ま とか地域の中で困っていることとか、あるいはやりたいこととか、そういったものを集めて、あ つ

それを集約して、し ゆう やく ゆう せん じ ゆ ん い と、あと優先順位をつけて、ワーキンググループをつくって、ワーキンググループの中

でそのテーマに沿った議論をして意見交換をしていただく。そんなことを考えます。そ ご ろ ん い け ん こう かん か ん が

ワーキンググループの役割やく わり み ぎ が わ か ふ なんですけれども、右側のワーキンググループと書いてあるところに吹

き出だ で し た だ ぶり ゆー じー やく わり やく わり か しがが出ていて、その下に、W G の役割、これはワーキンググループの役割ですけれども、書い

てあります。ワーキンググループの役割として、やく わり けん とう せ っ て い ち いき か だ い ち ょう さ

研究けん き ゅう ち いき か だ い し ゅう ち け い は つ こう えん けん し ゅう かい かい さい お こ な か ん が

こちらの運営は事務局会議が行ううん えい じ む き ょく かい ぎ お こ な じ き き と う じ しゃ か た

や支援機関や地域の数などから、ワーキンググループの委員として参加いただければと思っし えん き かん ち いき か ず い い ん さん か お も

ところでございます。

そのような形で、か た ち れ い わ ね ん ど じ む き ょく かい ぎ なか みな お お こ な ふ かい こ て い か

れた形を外して、それぞれ地域の課題を集めて、そこからテーマを設定して、そのテーマに沿った議論

ができるような形で、か た ち は ず じ り つ し えん き ょう ぎ かい さま ざ ま みな さん か い け ん ば

まいりたいと、そのような形で今考えているところでございます。か た ち いま かん が

今後につきましては、こ ん ご し り ょう こ ら ん お も れ い わ ね ん ど ね ん ど

ルイメージ（案）として出させていただきます。本日、この体系図を御提案させていただきます、
この方向でということになりましたら、4月から早速、意見を集めるようなことを事務局のほうでや
らせていただければと思っております。

令和5年10月に、第1回の全体会を開かせていただいて、ワーキンググループの設定などについ
て御提案させていただければと思います。令和6年3月には、第2回の全体会を開催すること
で、ワーキンググループの運営を行った進捗の結果を御報告させていただく。そのような形で、
事務局会議で検討した結果を本日皆様に御提案させていただいたところでございます。事務局からの
説明は以上でございます。

ここで、会長がおいでいただけましたので、御挨拶と意見をいただければと思います。会長、聞こ
えますでしょうか。

【会長】遅れまして申し訳ありませんでした。今、ニュージーランドのオークランドにおりまして、
オークランドが今、夜の11時になります。今、共同研究者たちとのミーティングが終わって、雨が
降ってきて、土砂降りの中、帰ってまいりました。遅れました。

事務局から順次御説明いただいていたので、今、説明については十分私も理解させていた
きます。新しい方法で、これから国立市のしょうがい福祉を、みんなでじっくり足元を固めながら考
えていこうという計画だと思っておりますので、とても楽しみにしています。どうぞよろしく願いたし
ます。

【事務局】会長ありがとうございます。遠く離れた場所から、夜遅い時間に御参加いただきまして、

ありがとうございます。

前半で各部会に御報告いただいて、後半、たたき台案ということで御説明をさせていただいている
ところでございます。あと、これについては、部会はどうなるんだというところでございますけれど
も、新しいワーキンググループの設定ができるまでは、仮置きという形で部会については存続させ
ていただいて、まずは令和5年度、私も事務局会議のほうで新しいワーキンググループが設定で
きるような地域課題を集める、様々な御意見を集めるところにまず取りかかりたいと考えているところ
でございます。

事前に資料をお送りしたんですが、このような形で御説明するのも初めてでございますので、なか
なか難しいところだと思っておりますが、本日全体会でございますので、忌憚のない御意見を皆様からいた
だければと思います。よろしくお願いいたします。

見ていただいて、分からない部分があれば御意見等をお願いします。

【委員】 御説明ありがとうございます。質問なんですが、この意見を集める窓口というのは常設と
なっていますけれども、なかなかイメージがつかなくて、常設というのは、どこにどう常設される
のかというのが1つ聞きたい。この個別のワーキンググループのための課題というのは、資料2をど
ういう形でどこに配布して課題を集約をしていくのかということと、集約されたもの、恐らく事務局
さんは4つなので、また再度4つのテーマに絞って、ワーキンググループのテーマを事務局さんの中で
話し合ってそれを出すみたいな形でしょうか。出したものに対しては、この地域課題に取り組みたい
人みたいなのを、市内のいろんな事業所とか家族会とか、当事者の方も含めて、どなたか委員になる

希望を募るといような形 でしょうか。よろしくお願いします。

【事務局】 受付窓口はどこかというところですが、これは市役所を中心としたところで、あと事務局

会議に参加している事業所の皆様とか、相談支援事業所さんとかに御参加いただきながら、常に窓口は

あ 開けていきたいと 考えております。

たとえばどういうふう 集めていくかについては、紙でもいいですし、今、事務局会議の中では、ネ

ットのアンケートフォームみたいなものも活用できればいいのではないかとというのがありましたの

で、そういったことはこれからまた検討させていただきたい。ただ、常に個別の課題について意見を

出させていただくところは御用意していきたいと 考えているところでございます。

それを集約するのは事務局会議でやらせていただいて、資料1に事務局会議の役割というものが右側

の真ん中辺りの吹き出しのところにあるんですけども、集約とワーキンググループの設定と、ワー

キンググループの運営は事務局会議にやらせていただきたいと思います と思っております。その上で、どのよう

な形で、同じように4つのワーキンググループができるのかとか、その辺はまた課題のところ で検討

させていただきたいと思 いますが、先ほど言ったように、優先順位をつけた上でワーキンググループ

の設定は事務局会議で 行ってまいりたいと 考えているところでございます。

ワーキンググループにどなたに入 っていたかということも、テーマに応じた委員設定も、私

ども事務局で 考えさせていただくと、そのように 考えているところでございます。

【委員】 そうしますと、意見を 集める受付窓口というのは、今、事務局会議の方プラス、その中で

ほかにも募集をして 集まるという感じですか。

【事務局】 意見を集める受付窓口の中にも書かせていただきましたけれども、例えば当事者をキー

ワードにした意見を聞く会をつくったりですとか、イベントのような形で個別に意見を集める機会も

つくりながら、日頃から何か困ったことがあったら意見を出していただくと、そんなところも含めて

かんが
考えているところです。

【委員】 そうしますと、その意見を集める受付窓口としては、事務局が中心に、例えば当事者の方

を集めて、積極的に意見を集約したりとか、そういうことをしていくということで、基本は事務局と

しょうかいしゃ支援課の方がそこを中心にやっていくという理解で合っていますでしょうか。

【事務局】 現時点ではそのように考えています。

【委員】 そうすると、委員についても、課題設定をした後に、事務局さんのほうで、この課題であ

ればこういう人に入ってもらいたいなという形で、直接依頼をするという形ですか、それとも広く、

こういったことを取り組むのでということで、以前は何か、こういった部会があるので参加希望を、

広く希望参加の有無の確認をしていたという話も聞いたことがあるんですけども、広くというより

も一本釣りみたいな形でお願いしていくようなイメージでしょうか。

【事務局】 これは設定するテーマによっても違ってくるのかなと思いますが、今、委員がおっしゃ

ったように、広くワーキンググループの構成員を公募するという形も1つテーマによってはあるので

はないかと思います。私どもとしては、開かれた当事者参加も含めたワーキンググループといったも

のは考えておりますので、広い呼びかけについては前向きに考えていきたいと思っております。

【委員】 ありがとうございます。

あと、他地区を見ると、相談支援、そこは部会として計画相談に従事している事業所が集まっている会というのはよくあると思うんですが、計画相談のところにいろんな当事者の方の困り事があったり、事業所の困り事とかが集まってくると思うんですが、相談支援部会とか例えばそういった活用というのはいかがでしょうか。

【事務局】 今、相談支援の事業所さんと連絡会なども今後開いていただくようなところがございますので、そういったところとやり取りしながら課題の共有について考えてまいりたいと、今考えております。

【委員】 あと、実施方法としては、基本は来年度についてもオンラインが基本なんではないでしょうか、それとも対面になっていくものではないでしょうか。

【事務局】 オンラインか対面かについては、こういった様々な感染状況の推移にもよるかと思えますけれども、一方でこのオンラインという参加手法が、比較的、参加のしやすさにつながる部分もあると思っておりますので、そこはどちらかに限らず、課題とかが設定された場面に応じた方法を広く、そこは柔軟に考えていきたいと考えております。

【委員】 どうもありがとうございました。

【委員】 前回、地域部会とか部会の中で、当事者・家族というのがちゃんと会としてあったと思うんですけども、この事務局会議の中に当事者・家族が入っていないのはなぜでしょうか。といいますのは、どうしても事務局会議という権力に近い状況になってしまいますと、事業者さんの意見のほうが強くなってしまって、結局、当事者・家族、しょうがいしゃ、本来意見が言いたい当事者の意見

がどんどん遠くになってしまうと思うんです。ですので、やっぱりこの中に当事者・家族の委員さんが

入るべきだと私は思うんです。それが一番公平だと思うんですけれども、いかがでしょうか。

【事務局】 事務局会議は、相談支援事業を行っているものと、市が中心になって進めるとい

ころであります。その部分については全体会の中に、ちょっと本日はいらしていただいています

けれども、家族会の方もいらっしゃっておりますので、そこ意見交換をしながら、今の事務局会議の

提案を、例えばこの体系図の見直しですと、承認するのは全体会としての役割を持ってございますの

で、そこで各部の当事者の方、家族の方も入れた形での承認を入れさせていただきたいと考えてお

ります。

あとは、個別の意見の中で、やはり当事者の方の意見や家族の方の意見を重視して、あとはワーキ

ンググループの中に御家族の方、当事者の方を積極的に一緒に入っていて、一緒に議論できる、

そんな場をつくって考えてまいりたいと、こんなふうに思っております。

【委員】 何か困ったときに、支援機関じゃなくて、市役所とかに相談したことが自分はあるんです。

市役所で、その困り事とか生活の相談とか、その声は拾い上げないんでしょうか。

【事務局】 市役所にももちろん困ったことを相談いただく部分は、困ったことを相談として、そこで

担当のケースワーカーと一緒に話して、新しく解決できたらそれでもいいと思うんですけれども、例

えばその困り事がお一人お一人だけの物すごく個別の問題なのか、地域でみんなが困っている問題に

なれば、ここでワーキンググループとして解決するにはどうしたらいいかというような広く議論をし

ていく場をつくるのも、今後の自立支援協議会の中でやっていく役割の1つかなと考えておりますの

で、もちろん市役所の相談ほうに御相談いただいても構いません。それは今までと変わりはありませ
ん。

【委員】 もう1つ質問なんですが、地域課題のワーキンググループの役割として、地域課題の周知、
啓発、講演や研修の開催も役割とするとなっていてはありますが、やっぱりある程度本当に課題を解決
するとなると、予算がついていないと難しい部分があるのではないのかなと考えるんですけれ
ども、そのあたりの予算とかについてはどうなっているのでしょうか。

【事務局】 事務局のほうで、講演会とかの予算というものは少し確保している部分ありますけれど
も、まだ潤沢にこういったものを確保するとかというものはありません。ただ、こちらにつきまして
は、例えばワーキンググループの中で設定される議論の中で、こういったことが必要かによっては、
市の中でも新たな予算の獲得、そういったものについては検討していきたいと考えております。

【委員】 ありがとうございます。

【委員】 何点か伺いたいたいんですが、まず、先ほど委員からの話もあった当事者の意見です
が、今回のたたき台が出てくるプロセスに、そういった当事者の方の御意見がどのように反映されて
いたのか、いれたいのかなど思ったのと、あと、今、事務局からの御説明は理解したんですけれど
も、事務局会議の中でお話しされたということだったので、ほかの事務局会議に参加されている事業者
さんから、どういう意見があったのかということをお伺いしているのをちょっとお伺いできれ
ばなと思いました。まず、これが1点目です。

【事務局】 当事者、やっぱりもともと固定した部会ではなくて、今、地域で当事者の方がどうい

ことに困っているか、そのテーマに沿った議論をしていくということが、見直しの中で必要ではない

かといったような御意見が最初に事務局会議の中でも出されましたので、それに沿ってこういったこ

とをテーマにしてできればいいかといったものを、事務局会議の中で考えたところでございます。

その中で、やはり当事者の方の意見をどのようにして吸い上げればいいのかについては、先ほど言っ

た、資料2の個別課題の抽出シートのようなものを作ってみたらどうかといったところで、個別課題

抽出シートの議論があったといったところでございます。

ほかの事務局会議に参加した事業所さんからの意見ということによろしいですか。

【委員】 その前に、当事者の御意見というのは、どういうふうに反映されていたのか、しなかった

のかということをお伺いしたかったんですけども、事務局会議の中で、当事者の意見ではなくて、

事務局会の中での話合いの中で決まったということですか。

【事務局】 そうですね。事務局会議の中で検討してきたというところがあります。

【委員】 事務局会議の中で出た御意見があったということなんで、そういう背景とかをほかの事業者

さんからお伺いできればと思います。

【事務局】 CILさんから、補足がありますか。

【事務局】 すみません。もう1回いいですか。

【委員】 すみません、分かりづらくて。事務局会議の中で、こういったたたき台が出てきたという

ことだったので、こういった組織の変更に関わる背景というか、どうしてこういうふうな御意見が出て

きて、何か理由があるのであればちょっと教えていただきたいなと思ったんです。

【事務局】 意見を上げられるところがなかったので、個別で当事者が困っていることなどを集めて、

個別の問題が国立市の課題になるんじゃないかということでこういう仕組みを作ったんですけど

も、仕組みだけはつくったんですけども、その中で当事者もどんどん参加してもらえるという仕組み

にはなっていると思うんです。ちょっと答えがあれかな。

【事務局】 今まで自立支援協議会の中では、部会を事務局の4事業所が1つずつ担当して、その中で

地域課題と言えるかどうかあれですけども、そこで集まったメンバーたちが、しょうがいのある人た

ちが地域で暮らす困り事ということについて、どういうことをやっていけばいいのかということをも

一生懸命やってきたんですけども、これでいいのかかなというところがあったし、あんしん部会のほ

うは行き詰まっているという行き詰まりもあって、部会ではなくて、当事者とか家族とか、いろん

な方から地域にある困り事を集めてはどうかという話もあり、一人一人がいろんな問題を抱えて生活し

ているだろうということで、一人一人の課題を持ち寄ったときに地域課題になるようなものもあるん

じゃないかということで、だったら、個別の課題から地域課題にして、それをいろんなメンバー、ワ

ーキンググループの名称になっておりますが、そこで当事者とか家族とか支援している方たちとか、

そういう方がメンバーで、どういう解決策があるか、どういうことをやっていけばいいか、システム

づくりだったり、その中には行政に動いてもらわなければいけないこともあると思います。それから、

社会資源の中でやっていけることもあります。そういうことをまとめて作り上げていければと思

ました。

うちのほうも当事者部会をやっていて、せっかく当事者部会があるのにな、どうしようかなという

はなし じっさい とうじしゃ ひと はい とうじしゃぶかい はい
話 も実際あったんですが、当事者の人たちもワーキンググループに入ってもらって、当事者部会に入

っている当事者は限られていますから、いろんなしょうがいを持った人を入れたいといって応募はし

たんですけども、7人でずっとやってきて、当事者部会の方たちも、いろんな課題を抱えて生活し

ています。それを一つ一つの部会で解決できるかという、どうにもなかなかできない。だったら、

じぶん こべつかだい ちいきかだい あ かだい とうじしゃ
自分の個別課題から地域課題のほうへまとめ上げて、そこで1つの課題として当事者から、いろん

いけん じぎょうしゃ ち え はいしゃく ちいき く
意見をもったり、いろんな事業者からお知恵を拝借して、しょうがいしゃが地域で暮らす、共に暮

らすというところの、違う意見というか、つくっていければいいのかなと思ってはいます。

いいん ありがとうごさいます。りかい じむきょくかいぎ なか ようす し うかが
【委員】 ありがとうございます。理解しました。事務局会議の中での様子を知りたかったのでお伺

いしたんですが、そうすると、たいせい ほうこう いろんとう たしょう かだい
体制としてはこういう方向で異論等は、多少、いろんな課題とかはあ

るかもしれませんけれども、たいせい たいせい ほうこう いろんとう たしょう かだい
体制としてはそうしていきたいというふうにまとまると理解してよろ

しいですか。

ありがとうございます。

じかん もう わけ さき よさん はなし て わたし
お時間をいただいて申し訳ないんですけども、先ほど予算の話が出ていましたが、私もそこが

すこ き く にたちし しきくすいしんきょうぎかい けいかくさくていいんかい
少し気になって、国立市しょうがいしゃ施策推進協議会というのがもともと計画策定委員会というも

のであったと。ころもが にんしき かんけいせい いけんとうれんけい
それを衣替えしたと認識しているんですけども、そこの関係性が「意見等連携」

となっているんですけども、なに こんきょ がいけん の
これは何か根拠があるものなのか、どういうふうに意見を述べていく

のか、てき たんぽ やくわりぶんたん かんけいせい ふく
システム的な担保があるのかどうかということをちょっと、役割分担とか関係性みたいのも含め

おし おも
て教えていただきたいなと思いました。

【事務局】 国立市のしょうがいしゃ施策推進協議会は、上のほうの全体会と矢印で連携というよう

な形の仕組みを取らせていただいておりますけれども、まず、しょうがいしゃ施策推進協議会につ

いては、今私どもでつくっているのは国立市しょうがいしゃ計画です。しょうがいしゃ計画の中間

評価を行っていただいているところです。中間評価を行った後に、法定で定められている次の法定

の計画、しょうがいしゃ計画というのを改めてつくっていくわけですが、その役割をしょうが

いしゃ施策推進協議会が担っているといったところになります。

今後、計画ができた段階で、例えば計画で様々な市の施策がその中で進むわけですが、その中に

例えば自立支援協議会のワーキンググループから検討された施策の反映とか、そういったところにつ

いて、同じような施策につながる部分もあるかと思えますし、違う意見も出てくるかもしれませんか

ら、そこは私ども市のほうで、推進協議会が出た意見と、自立支援協議会が出た意見をつなぎ合わ

せるとか、方向性を確認するとか、そういったところはやっていきたい。それは自立支援協議会とし

ょうがいしゃ施策推進協議会のそれぞれの役割の中で定まった部分がありますので、その中で整理さ

せていただきたいと思います。

【委員】 今、役割の中でとおっしゃったんですけれども、施策推進協議会は、そうすると計画を策定

するのが役割ということでよろしいんですか。

【事務局】 計画の策定と、それから施策の評価。計画の評価は続けていきますので、今、計画の中間

評価とそれから新たな計画のときの、例えば推進協議会も2か月に一遍ぐらいその計画については回

を重ねているんですね。ただ、計画ができた後については年度の中の進捗評価みたいなことを行っ

ていく形になりますので、計画の評価はというふうに進んでいるかというのを、主に推進協議会の

ほうでは議論していただくと考えております。その中で、例えば計画の中で反映している施策のと

ころに、例えば自立支援協議会もそれが地域課題の中から出た施策であれば、こういった同じような

報告を推進協議会の中でもさせていただくというのはできるのではないかと考えています。

【委員】 くどくて申し訳ないんですけども、役割分担として私が確認したいのは、自立支援協議会

というのはどういう役割を担っていく、そしてその関係性というのは、推進協議会とどういう関係性、

今のお話を伺うと、自立支援協議会で上げたものは、しょうがいしゃ支援課が引き取りますよとい

うことのように私は理解したんですけども、それで、しょうがいしゃ支援課が推進協議会の事務局

でもあるので、その中で自主的に消化していくというふうに聞き取れたんですが、そういう認識なん

でしょうか。

【事務局】 もともと自立支援協議会については、地域の方で様々な、全体会もそうですし、部会も、

今後ワーキングにすればワーキングもそうなんですけれども、地域の中でしょうがいしゃの自立のた

めにどういうことができるかというのを、様々な立場からいろんな方に議論していただくのが自立

支援協議会だと、市のほうとしては今理解しているんですね。

そして、しょうがいしゃ施策推進協議会は、今言った法定されている計画をつくらるところが役割と

なってございますので、それぞれ役割を持っている。そういった違いはあると考えております。

【委員】 先ほど委員がおっしゃったように、課題解決型に向けてというふうには、今回、組織自体を

改編していくわけですね。それを担保するものが何かということが、ちょっと私にはなかなか腑に落

ちないところがありまして、結局、今までも部会で上げたものが、私は細かいことは存じ上げない
ですけれども、多分いろんな課題があったと思うんですね。それを上げていく先が例えばなかったと
か、実現していく方法、あるいは予算立てする手段がなかった、そういった要因で課題が解決しな
かったみたいなこともあったのではないのかなと思うんですけれども、そうすると、この図でいうと、
全体から協議会に上がっていく太い矢印、結局これが変わらないとあまり課題解決型に向けてという
意味に通じないのではないのかなと、そういう懸念が正直なところあるんですけれども、その辺の
御説明がいただけるとありがたいんですが。

【事務局】 そうすると、今、矢印が推進協議会だけになっているので、例えば、そこに上に行政と
か、市のほうに直接反映される図になっていないというところの懸念でございますか、今、委員がお
っしゃるのは。

【委員】 例えばしょうがいしゃ施策推進協議会の条例を見ると、市の附属機関となっているわけ
ですよね。それはそれで、別にそれぞれの役割があっていいと思うんですけれども、推進協議会とい
うのは法設置だということで、その矢印の意味合いというのが、これだけ見ると何か反映してい
くのかなと思って私は伺ったんですが、1回市が引き取るよとなると、それを系統的に担保する
ものがないように私は理解しているんです。もし認識が違ったら訂正していただければと思います。

【事務局】 自立支援協議会で提案されることは、市のほうに、例えば施策として実行するような
必要性があれば、それはきちんと市としては考えてまいりたいと考えています。なので、こうい
った地域課題から出たそれぞれの施策の意見の反映みたいなところを、全体として戻していくのは市の

ぎょうせい やくわり 行政の役割でもございます。ただ一方で、例えば地域の役割も、例えば町会であったりとか、事業所

で考える中での何らかの強化であったりというところになると、市だけではなくて、地域の方や

事業者の方の様々な協力は出てくるのかなと考えているところです。

【委員】 市というのは、しょうがいしゃ支援課ということですか、それとも国立市長ですか。

【事務局】 国立市ですね。我々、しょうがいしゃ支援課は、あくまでも私どもの自立支援協議会の

しょうがしゃ施策に関するところとなりますので、そこが中心になるかと思えます。

【委員】 全体会以下のことに関しては、先ほど委員のお話もありましたので理解したんですが、ち

よっと今のところやはり、今の御説明ですと、すみません、そうですかというふうにはならない。

また今後教えていただければと思います。

【事務局】 今、委員がおっしゃられた原因というのは、自立支援協議会でせっかく地域課題が出て

議論されたことが、そのままになってしまいうんじゃないかというのは御懸念にも思われますので、そ

こはきちんと反映していく仕組みをこの中に表現できるような形に考えてまいりたいと思いま

す。

【委員】 そうです。その課題解決が課題だったと思うので、それを解決する形になっているかとい

うところが1つ疑義としてありますので、御意見として挙げさせていただきます。

【事務局】 この中でまとまってしまって、何も変わらなかったということで、私どもばかりになる

と思ってもございますので、きちんとそれを、ただ、自立支援協議会は、先ほど言ったように、市だ

けではなくて、様々な方の御理解や御協力がある中で説明させていただくものでございますので、そ

ういったところを表現できるような形に改めて直さしていただければと考えております。

【事務局】 事務局会議の中にも、ワーキンググループで出た提案は全体会上げていって、全体会で、

例えば市の施策としてやっていくことが適当だろうというような決定があったときには、市に上げて

いくんだということを、今日の全体会でもちゃんと話してほしいという話も出たかと思うんですが、

ほかの事務局の事業所の方たちはどうでしょうか。そういう話も出たかと思うんですが。

【事務局】 市へ上げるということもそうなんですけれども、先ほど委員が言っていた課題解決型に

向けてという部分のことを話しますと、エプシロン、かいゆうは、最初から自立支援協議会あんしん

部会という形で始めていましたが、始めるときに、こういうものをつくるとなって、くらし、あんし

ん、つどい、しごとという4つのキーワードで部会をつくると。それで、そのキーワードだったらこ

うということがテーマかなと、こういうことがテーマならこういうところが所属したほうがいいだろう

というふうに、何となく決められて始まったんですね。

なので、あんしん部会は防災、あるいは権利擁護ということかなということで、最後の何年間かは

防災が中心になったんですけれども、ということは消防、警察、保健所、そういう方々が委員だっ

たんですが、しょうがいのある人たちに日常的に特に接していない方たちが委員であったりして、

正直に言うとなかなか困ってしまいました。

一方、ふだん相談支援の業務をやっていたら、その地域の中で困っていることというのは、例えば

送迎が足りないとか本当にたくさんあって、そういうことが一事業所として、業者さんとの中で何と

か解決していこうと思うんだけど、やっぱりもうちょっと広く地域の課題なんじゃないかと思う

ようなことがたくさんあるんだけど、そういうことが扱えないまま自立支援協議会に属している

から定期的に部会とかをやるんですが、何かちょっと形式的なものになるような感覚がありました。

ほかの相談支援の事業所の人たちも同じような気持ちを持っているようなことが話合いの中で出てき

たので、やっぱりどうやって当事者の困り事を吸い上げていくのか、その仕組みをつくろう、どうい

う形でやれば吸い上げられるのかということから、去年の夏に話合いを始めていきました。

また、ワーキンググループという、課題に焦点を当てて、それを何とかしていこうという単位にな

れば、もうちょっとそこにモチベーションを持って参加する人たちが集まって、すごく動けるんじゃ

ないかと思って、そういうようにちゃんと機能していく自立支援協議会にしていきたいと、そういう

ところが課題解決型に向けての見直しということで、ぜひそういうふうにやっていきたいと思ってい
ます。

【委員】 前回、私、結構、地域の前に、CILくにたちさんたちと入ったグループ、つどい部会に

入ったんですけども、そのときに皆さんでアイデアを出して、くにたちNAVIというシステムを

つくったんですね。国立市内にあるレストランの幅とかを調べて、車椅子が入れるとか手話の会話が

できるスタッフがいるですとか、細かいアンケートをつくって、すごい大変だったんですけども、

意見を吸い上げてつくってもらったんですが、結局スタートしてみると、CILくにたちが

事務局になって、その部会はアイデアを出しましたから卒業ですみたいな感じになっちゃって、アイ

デアを出してみんなが頑張ったのに、あれCILさんだけなのと私は正直思いましたし、事務局会議

をやるのは全然構わないんですけども、これをもう決まったこととして出てくるのが私の中では

ちょっと分らない。

みんなで国立市の重度のしょうがいとか、身体しんたいのしょうがいとか、事業所じぎょうしょの人数にんすう、しょうがいしゃの人数にんすうに対しての比率たいひりつに合わせた部会ぶかいが入はいっていると、そういうことを細こまかく調しらべてつられてい
るのか、全まったく見えない中なかにぽんと出てきたので、私わたしはちょっとどうなんだろうという疑うたがいぐらいに
思おもってしまうぐらいの何かなにもやもやとしたものがあるんです。

前まえのこの事例じれいがなければ、私わたしも全然ぜんぜん気にしない案件あんけんだったんですけれども、やっぱり障害年金しょうがいねんきん
関かんしても、身体しんたいしょうがいしゃの方が一番いちばんもらっているんですよ。精神せいしんの方が一番いちばん最後さいごだったので全然ぜんぜん
もらえていないんです。そういう配分はいぶんの比率ひりつもあるので、やっぱりそこはきちとちゃんと現実げんじつに照ら
し合わせた状態じょうたいでお話はなしを進すすめていただきたいと私わたしは思おもいます。

当事者とうじしゃなので意見いけんを言いわせていただきました。こういう会議かいぎというのは、事務局会議じむきょくかいぎの中なかに当事者とうじしゃの
人ひとが入はいっていないと絶対意見ぜったいとして出でてこないと思おもうんですね。そこは、やっぱり当事者とうじしゃは絶対入はい
ていることが公平こうへいだと思おもうので、願ねがいいたします。利権りけんと全まったく関係かんけいない人ひとが言いうべき案件あんけんだと思おも
るので、取り上げる取り上げないのは市議しぎ会かいですとかそっち側がわの皆みなさんで選えらべられたりして決きめることで
すけれども、意見いけんを上げるところがなかつたら誰だれも聞きいてくれないので、結局けっきょくしょうがいしゃ、精神せいしん
のしょうがいしゃは閉とじ籠こもるしかないので、よろしく願ねがいします。

【事務局】 ありがとうございます。今いま、御意見ごいけんを聞きいていて確たしかにそうですね。何なんらかの意思決定いしけつていの
プロセスの中なかには当事者とうじしゃが入はいっていただくというところも必要ひつようのかなと思おもいますので、例たとえば私わたしど
も意見いけんを集あつめる受付窓うけつけまど口ぐちを常設じょうせつするとなりますけれども、それを事務局会議じむきょくかいぎの中なかに入れてい

すけれども、意見を集める受付窓口、当事者の方から意見を集める中で、例えばワーキングをつくる

とか、市の施策として反映するプロセスの中に、当事者の方に積極的に関わっていただくような仕組

みを追加で考えさせていただければと思います。ありがとうございます。

【委員】 また質問なんですがこの課題解決型に向けてというところで、全体会としては年何回ぐら

いを今後やっていくと考えていらっしゃるのか、ワーキンググループは実際立ち上げたらどういった

ペースでやっていくのか。恐らく全体会にいろんな意見を集約して、国立市のしょうがいしゃの施策

に反映していくとなると、年2回の全体会で集約してやってくというのは回数としては非常に少ない

んじゃないかという印象と、予算についても、例えばワーキンググループで取り組んで、これをやり

たいね、タイムリーにやりたいねといっても、いや、今は予算化されていないので来年度に向けて

予算化していきますみたいになると、やっぱり話合いだけで終わってしまうというような、今回、地域

交流部会でも、常に予算の部分というのはどうやって捻出したらいいのかみたいなのはずっと

出ていたので、やっぱり課題というのはタイムリーに取り組むことはとても大事だし、早ければ早い

ほど、そんな簡単には解決できないことがたくさんあるので、最初の一步は早めに取り組んだほうが

いいのかなというのもあるんですが、そのあたり、何か全体的なイメージというのは、ないのかもし

れないですけれども、今のところのお考えを教えてくださいなと思います。

【事務局】 資料3にあるとおり、まずは意見を集める、集約を令和5年度かけてやりたいと思って

おりまして、その中間報告のようなものを10月にやらせていただきたいと。3月にはその年度の

進捗の報告をさせていただきたいというスケジュールを今考えておりまして、事務局としては年2

かいていど いまも
回程度のイメージを今持っているところでございます。

ただ、今、御意見があったように、例えばワーキングの設定ですとか、そういった中ではこれでは
足りないという部分ももちろんございますので、そこについてはちょっと考えてまいりたい。ただ、
市のほうで予算がかかるものについては、市の予算策定の部分は影響してまいりますので、例えば
来月すぐに予算が用意できるかというのは、行政の仕組みの制約に関わる部分については、ちょっと
限界があるというのは正直なところでございます。

ワーキンググループについては、設定されたテーマに応じた開催回数などを、別途、そこはワーキ
ンググループの中で検討してまいりたいと考えているところでございます。

【委員】 ありがとうございます。

【事務局】 ほかはいかがでしょうか。

オンラインで参加いただいている事務局会議のメンバーの方も含めてですけれども、何か意見や
補足があればと思いますが、いかがでしょうか。

【事務局】 全体会の体系が来年度から変わるじゃないですか。全体会がちゃんと課題を解決できる
場所になればいいなと、これは私たちの気持ちなんですけれども、私の。何かあやふやになっちゃ
うのがちょっと一番怖いなと思ったんですけれども、その辺はちゃんとしてほしいなという願いがあ
ります。

【事務局】 分かりました。ありがとうございます。まず、全体会の中できちんと意見の反映と承認
みたいなものは考えてまいりたいと、市としても考えております。

【事務局】 ワーキンググループで、話し合ったことを、決めたことを、全体会がちゃんと承認してくれて、ワーキンググループがこの問題はどこでどうやって解決していくのがベストだという提案が出されるとして、それを行政に持っていくのか、提案と同時に動けるように徹底していただかないと困ると思うんです。それが、できるようになったらなと思います。

今までも、部会でいろんなことを話してきましたけれども、部会がずっとその期間やっていくのかどうかということも1つありましたし、さっき、つどい部会の人たち言っていましたけれども、つどい部会で一定程度形にしたときに、その場で出た情報を、どこがどういうふうに、その情報をどうやって更新していったり、そういう役割をずっとつどい部会がやるのかどうか、どこがやるのかというところが、すごく私たちは議論しました。

結果的に、さっき言われたけれども、CILが、更新とか、新しい情報を出すという部分は、うまくはやれていないですけども、そういうことになっています。そこまで持っていたんですね。

なので、このワーキンググループで決めたことを、そうなんですか、こういう案もいいですねじゃなくて、いい案なら、どうするのかという部分、自立支援協議会としてワーキンググループで話し合った結果をどこへどう持っていくかというところの決定までするんですよねというところを、今日はそこを話してほしいし、結論も出してほしいと思います。

【委員】 自分は心身しょうがいなんですけれども、なびいに登録しないしょうがいしゃもいっぱいいると思うんです。そういうのはどうやって声が反映されていくとか、あと登録していない人の生活実態とかをどう解決していくのかと思うんですが、それはどのようにお考えですか。

【事務局】 ^{じむきょく} ^{いまかんが} 今考えているのは、^{じぎょうしょ} ^{つう} 事業所を通じてではなく、^{とうろく} ^{かた} ^{いけん} 登録されていない方も意見をいただける

ような、^{たと} ^い 例えばさっき言ったイベントじゃないですけども^{いけん} ^き ^{かい} 意見を聞く会のようなものでつくったり

とか、^ふ ^{ひと} ^{ひと} ^{ひと} さっきちょっと触れましたけれども、人によってはできる人とできない人もいらっしゃるかも

しれませんが、^{つう} ^{つう} ^{ほうしき} インターネットを通じて、ウェブを通じたアンケート方式などもありますので、そう

いったところを^{さまざまかつよう} ^{おも} 様々な活用させていただきたいと思っています。

^{さき} ^{わたし} ^{ぎょうせい} ^{しえんか} ^{まどぐち} ^{かつよう} 先ほどありましたとおり、私ども行政ですよね。しょうがいしゃ支援課の窓口も活用していき

^{かんが} いて考えています。

【委員】 ^{いいん} ありがとうございます。

【事務局】 ^{じむきょく} ^き ^{ほんとう} ^{かんしん} あとは、まだ決めてはいないですけども、ワーキングに本当にそのことに関心のある

しょうがい^{とうじしゃこじん} ^{さんか} 当事者個人が参加するということも、もちろんあっていいことと思っています。

【委員】 ^{いいん} ^{かさ} ^{しつもん} ^{もう} ^{わけ} ^{さき} ^{いいん} ^{じむきょく} ^{かた} ^{ごいけん} 重ねて質問で申し訳ないですが、先ほど委員がおっしゃっていた事務局の方の御意見を

いうところで、^{みな} ^{さん} ^{とか} ^{なびい} ^{さん} ^{とか} ^{なか} ^{たちば} ^{いけん} その中でどんな立場で、こういった意見とか、こ

ういった^{かだい} ^{あわ} ^{うかが} ^{じりつしえんきょうぎかい} 課題があるんじゃないかとみたいなのを併せて伺いたいというのと、あと、自立支援協議会

は、^し ^{ない} ^{おお} ^も ^{かた} ^{えいきょう} ^{あた} ^{ぶぶん} ^{おも} ^{いっばんしみん} ^{かた} ^{かい} 市内の多くのしょうがいをを持った方に影響を与える部分だと思うので、一般市民の方にもこの会

で^{はなしあ} ^{すす} ^{ぎじろく} どういった話し合いが進んでるのかというような議事録とか、そういったものがホームページでア

プされるような^{かのうせい} ^{あわ} ^{うかが} ^{おも} ^{ねが} 可能性があるのかというのも、併せてお伺いさせていただきたいなと思います。お願い

します。

【事務局】 ^{じむきょく} みなさんから、どうでしょうか。

【事務局】 皆さんのお答えと多々重なるところがあるかと思うんですけども、そもそもの話、こ

の協議会の主体はもちろん当事者及びその御家族なわけで、いろいろまだ決まってははいんですよね。

ここで承認をいただいていたらいんじゃないかという段階なので、別に決めつけて持ってきたわけではないんです。

先ほども出ましたけれども、そもそも自立支援協議会の設立に当たって4つのテーマを決めて、そ

れに向けて動いてきたんですけども、各地域そうですね、そのテーマ以外にも、様々なたく

さんの小さな困り事とか、こうやってほしいという期待感とかが多く存在していて、テーマに沿った

部会を活動してきましたけれども、やっぱり全部を捨てていないよねということが話の発端だったんです。

事務局をやっているのも、我々支援者だけなんですけれども、事務局会議の中でも必ず当事者は扱

かせないよねという意見はずっと出ていましたし、あくまで、しょうがいを持った方々を入れていこ

うという発言はあったんですね。全部をまだまだ補い切れていない、目を向けられていないところも

ありますし、正直なところ、はっきりとした体系図案にもなっていないと感じられるのもごもっとも

だなと思うところです。

事務局会議も何回か開催したんですけども、いろんな議論で白熱というか、あれもこれも、そも

そも協議会の本来の役割としては地域課題に取り組むだけじゃないし、ほかにも様々な取り組んでいか

なきゃいけないことはあるんですけども、まず、いろいろな地域、いろいろな個人からの悩み事とか

困り事をもうちょっとダイレクトに拾っていきこうよ、それが協議会なんじゃないかという話から始ま

り、個人の困り事から、実はこの国立市のそもそもの課題、問題なんじゃないかというところで、本来
の協議会の在り方に戻していかないかというのは、実はもうちょっと前、何年か前からもう意見がず
っと出ていたんですね。それをどんどんやっていこうというところで、こういった体系図案に形づく
られてきたのは、いろんなほかの地域の協議会の形、様々な形が違うんですけども、もう少しワー
キンググループというダイレクトに、割とフリーというか、実行力の持ったグループをつくって実施
している地域もあるんですね。そういうのをいろいろ参考にしながら、国立市のカラー、地域性と照ら
し合わせて、ワーキンググループがいいんじゃないかという最終的な案が出たわけですよ。

それで、様々な御意見、疑問というか、全体会もそもそも、本当はコンスタントにできたらいいん
ですけども、まずはちょっとやってみようというところから始まって、だんだんイメージ、実態が
わかってきたら、もう少し細かくやってみようかなと思っておりますし、この推進協議会というの
も、僕個人的にもどういった連携を取るんですかと質問もさせてもらったりとかもしたんですけども、
様々なまだまだ拾い切れていない問題があるなと正直思うところです。

【事務局】 私 も、今年度からこちらの相談支援事業所に配属になりまして、今年度からの参加にな
るんですけども、最初のほうは、もうちょっとこの下のほうの当事者、家族とかというところは、
もっといろんなものがついていて、今は集約された形になっていて、見た目だとそこからちょっと
外れている感じには見えるんですけども、決してそういう考えじゃなくて、分かりやすさというこ
ろでぎゅっとまとめたという印象が会議に出ていてありました。中には相談だけじゃなくて、例え
ば就労B型とかのそういう横のつながりとか、いろんな事業者さんの横のつながりとかも入れていき

たいよねという意見^{いけん}があったんですけども、もう幅^{はば}が広^{ひろ}くなり過ぎ^すちゃって分^わかりづらくなっちゃ
うからというので、分^わかりやすく4つにした経緯^{けいゐ}があったかなというのを思い出しながらか話^{はな}していま
す。

だいたいみな^{だいたいみな}が言^いっていた意見^{いけん}と同じで、最初^{さいしょ}は意見^{いけん}を集める受付^{あつ}窓口^{うけつけまどぐち}のところに、当事者^{とうじしゃ}部会^{ぶかい}を残^{のこ}そ
うよという話^{はなし}とか、そういうのも入^{はい}っていたかなと思^{おも}っていて、議論^{ぎろん}を重ね^{かさ}る中で、やっぱり当事者^{とうじしゃ}
部会^{ぶかい}にかかる負担^{ふたん}とかが多^{おほ}くなっちゃうところいろいろ意見^{いけん}を重ね^{かさ}ていて、意見^{いけん}を集める
受付^{うけつけまどぐち}窓口^{まどぐち}という形^{かたち}になったという経緯^{けいゐ}があったかなと思^{おも}います。

【事務局^{じむきょく}】 ありがとうございます。なびいさんのほうから……。

【事務局^{じむきょく}】 すーむ はつげん むすか じぎょうしょ だいたい
ていただいているのと私^{わたし}もおおむね同じ理解^{りかい}なんですけれども、今^{いま}まで出^でなかつたことで、私^{わたし}
個人的^{こじんてき}に思^{おも}っていることに近^{ちか}くなってしまいうんですけれども、事務局^{じむきょく}会議^{かいぎ}の中^{なか}でもちよっとお話^{はなし}をさ
せていただいたんですけども、自立^{じりつ}支援^{しえん}協議^{ぎょうぎ}会^{かい}はいろん役割^{やくわり}が決^きまっていますし、自治^{じち}体^{たい}によっ
てやり方はいろいろだと思^{おも}うんですけども、私^{わたし}はしごと部会^{ぶかい}に、最初^{さいしょ}からではないんですけど
も、このところしばらく関わ^{かか}らせていただいて、やっぱり横^{よこ}のつながりというんですか、支援^{しえん}機関^{きかん}
どうし同土^{どうし}もそうですし、あとはしごと部会^{ぶかい}に入^{はい}っていただいている当事者^{とうじしゃ}の方^{かた}ともそこで初^{はじ}めて出^で会^あった
という方もいらっしゃいましたし、横^{よこ}のつながり、ネットワー^{じりつしえんぎょう}クづくりというのが、この自立^{じりつ}支^し援^{えん}協^{ぎょう}議^ぎ会^{かい}が1つ国立^{くにたちし}市^しで役割^{やくわり}として担^{にな}えるといいのかなというふう^{こじんてき}に個人的^{おも}には思^{おも}っています。

市役所^{しやくしょ}の方^{かた}がいる前^{まえ}であれですけども、国立^{くにたちし}市^しはそんなに大^{おほ}きい市^しではないので、顔^{かお}の見える関係^{かんけい}

ほんとう ちよっと て の かんたん き ほ おも
も本当にちょっと手を伸ばせば簡単にしてくれる規模だと思っています。なので、それをもっとより

じゅうじつ そう あつ く
充実させていって、層を厚くしていって、いろんなところがいろんなところとネットワークを組みな

がら、いろんない せいど サービスとか、 しえん せいかつ あ かた いっしょ さんにん よ
がら、いろんないい制度とか、サービスとか、支援とか生活とか在り方をみんなで一緒に、三人寄れ

もんじゅ ち え にん にん ち え かんが じりつしえんきょう
ば文殊の知恵じゃなくて、100人いれば100人の知恵で考えていけるような、そんな自立支援協

ぎかい おも こじんてき いけん ぶく いじょう
議会にしていたらいいんじゃないかなと思っています。個人的な意見も含めていますが、以上です。

いいん いま じむきょく じむきょく たちば はなし いいん たちば
【委員】 今、事務局からは事務局の立場で話があったんですけども、委員としての立場からちよ

い ぶかい なか ぎろん ぎろん
っと言いますと、部会をやっていく中で、議論をするのと、いろいろ議論して、ああしよう、こうし

じっこう せんび むすか
ようとなったものを実行してくるところがどこまでやったらいいのかという線引きがすごく難しか

ぶかい たいけん ていど じそう きどう の ぎろん
ったんですね。しごと部会のしごと体験もある程度もう自走で、軌道に乗ってきちゃったんで、議論

たんどく うご ぶかい はな あたら ぎろん なに
するというよりそれだけ単独で動かしていけばいいという、それは部会から話して新しい議論を、何

かだい うご ぶかい
か課題をやるのか、それともそれを動かしてくところまで部会になるのかというところが、すごくや

むすか じっかん ぎゃく
っていて難しいところだったというのは、そんなのがちょっと実感としてあるので、なので、逆に

かたち つとつと よう もくてき
ワーキンググループという形で、都度都度、要するに目的ごとにやってくというのはとてもいいこと

おも
だと思います。

けっこうかだい あ ぶかい
あと、結構課題がみんなそれぞれのところから上がってくるわけなんですけれども、部会のメンバ

ひろす はす ぶぶん で
ーが広過ぎて、みんなでまとめていこうとすると外していかなきゃいけない部分が出ちゃったり、10

こ かだい なか こ しぼ かたち こ こべつべつ うご
個の課題があって、その中から1個に絞ってくような形、10個が10個別々にばっと動かしていけれ

しぼ まる
ばそれはそれでよかったんでしょうけれども、なかなかそこまでいなくて、絞っていくと丸くなっ

てくという、そういう形かたちがあったので、ワーキンググループという形かたちでやって都度都度つどつどというほう
が、正直しょうじき、しごと部会ぶかいも、ここまで来て次は何をやるかというところで大分もう行き詰まっていた
というか、次に何をやるかという状況じょうきょうもあったので、こういう形かたちがいいのかなとは思いますが。

あと、ちょっと個人的意見こじんてき いけんとしては、今皆さんの意見いまみな いけんを伺うかがっていたところでは、ワーキンググル
ープが事務局じむきょくにひもづいているような図ずになっていますけれども、実際のところは、やっぱり全体会ぜんたいかいの
当事者とうじしゃが入ったところに、この図ずではついていないけれども、当然ながら関わってくると思うので、
当事者とうじしゃの方の意見かた いけんを反映するということだと、図ずの描き方かたの問題もんだいかもしれないですけれども、ワー
キンググループが全体会ぜんたいかいとひもづいていけば、そこで当事者とうじしゃの方の意見かた いけんも反映されていくような形かたちに
なるのではないかとおもいました。

【事務局じむきょく】 ありがとうございます。あともう一つ、委員いみんからあったように、議事録等ぎじろくなどの公開こうかいのこ
とです。まだ、できていないところがありますけれども、そこはぜひ市民しみんに、国立市くにたちしでこういう形かたちで
こういう活動かつどうをしているということが、プロセスぷろくも含めて分かるようなところを、私どもわだしを中心に
かんがえてまいりたいとかんがえているところでございます。

【事務局じむきょく】 今のしごと部会いま ぶかいさんの課題かだいはとても分かります。しごと部会ぶかいで進めてきたけれども、し
ごと部会ぶかいでやっていることを次へ進めないといけないと思うんですね。しごと部会ぶかいさんがやってき
たことを、どこか担になうのが一番いちばんいいのかというところをかんがえなければいけないと思うんです。そこを
いっしょうけんめいいっしょうけんめい 提案ていあんしてきても、今までは全体会いま ぜんたいかいとして決定けつていがなされなかったところだと思うんですね。

全体会ぜんたいかいで決定けつていしたことにしましては市は動くよと言ってくれれば、私わだしたちは安心あんしんというか、大船おおふねに乗っ

たような気持ちでいられるんですけども、本当にいろいろ言いたいことはたくさんあるんです。

今後ワーキンググループができて、ワーキンググループが一生涯懸命考えて提案してきたことを

実現していかないと解決型に向けてとはならないと思うんですね。なので、全体会のメンバーの方

ちにお願ひしたいのは、上がってきたものはしっかりと実現していくんだということを思っていた

きたいし、市もそれに沿って、支援課も動いてくださると思っていたと思います。やはり

全体会で決定していただかないと、その先に動けないと思うんです。

【委員】時間が押していて申し訳ないですけども、今の委員のお話しを伺っていて、まず全体会

の機能というか、この会議の機能の問題だと思うんですね。要綱を見ていただくと、協議をする、全部

協議をする。啓発とか入っていますけれども。当初、さっき奥迫さんがおっしゃっていたように、こ

の会議はそういう情報共有とか、市内の横のつながりを、仲よくしながらつくりましょうという趣旨

でつくっていた。それはそれで、私ももちろん、もともと行政の人間なので責任も感じますし、そ

れはそれで、その当時のベストは尽くしたつもりです。ただ、時とともに役割が変わって来たり、や

はりもっと課題解決型に向けたというのは当然だと思うんですね。

ただ、この間の全体会の機能としてそういう承認を求められていたかということ、恐らく逆に言う

と否決したことはないと思います。報告があって、そうですねということですと来ていたと思うん

ですよ。やはりその機能の、ちょっとそこで戻ってしまうんですけども、どういうふうを実現し

ていくか。予算がすぐつかないのは私も行政の人間なので当然分かります。そういう問題ではない

と思うんですが、ただ、そこに出たものを、どういうふうさらに議論の俎上に上げていくかという

ところのシステムが、そもそもこの会議かいぎにないんですよね。

ですから、それをそのままいくという、先ほどの委員いいんのような形かたちであれば、私わたしは別にそういう形かたちで皆さんみながいいということであればいいと思います。ただ、ここに課題解決型かだいかいけつがたへ向けてと書いてあるので、もしそれをやるのであれば、そのことをクリアしないと、論理的ろんりてきに問題もんだいは多分解決たぶんかいけつしないとおもおもうんですよ。なので、行政ぎょうせいの皆さんみなはちょっとやりづらいとおもおもうんですけども、私わたしはもともとそういうふうなつもりで議論ぎろんへ参加さんかしていましたが、だからちょっとずれがあるのかもしれないですね。

そこを解決かいけつしないと、言った、承認しょうにんしてくれたんで、終わってまた1年後ねんごみたいなことになるわけですよ。評価ひょうかもありませんし。その辺へんのところは、それでいいということであればいいんですけども、私わたしはどうしてもちょっとひっかかるので、今の委員いいんのお話はなしを聞いて、なお思おもいは強く持つよちました。いかがでしょうか。

【事務局】 全体会ぜんたいかいの機能きんのうを、今いまみたいな意見いけんを入れてちょっと考えかんがさせていただければと思います。意思決定いしけつていの明確化めいかくかみたいなところ、そこをもうちょっといただくようなところを考かんがえていきたいとおもおもうんですけども。

【委員】 その方法ほうほうを例えば要綱ようこうに書き込かむとかそういう意味いみ合いですか。

【事務局】 そこも含ふくめてです。制度的せいどときにどういったものができるのか、ちょっと考かんがえていただければと思います。

時間じかんがちょっと押おしてしまして申し訳もうわけありません。言い残いした部分のこは申し訳ぶんないんですけども、

あと じむきょく しゅうやく じむきょくかいぎ
後から事務局にそれぞれいただいたものを集約して、また事務局会議のほうでまとめさせていただ
ればと思います。

いまぎろん こうひょう さいご かいちょう ごいけん
今議論いただいでいて講評ではないんですけども、最後に会長のほうからちょっと御意見いた
だければと思うんですが、いかがでしょうか。

かいちょう わたし じりつしえんきょうぎかい けいけん すく
【会長】 どうもありがとうございました。私のほうがまだ自立支援協議会での経験が少ないので、
みな いま けいけん うかが ぐたいてき そうそう
皆さんの今の経験を伺いながら、うまくいっているとことうまくいっていないところが具体的に想像
することができました。

たぶん ちゅうしやうてき ぎろん おお わたし ぶく みな おも
多分、抽象的な議論が多いので、私も含めてですけども、なかなかその皆さんが思っているこ
とがシェアしにくいというのが、話 を聞いていて思いました。すごく問題解決のことだから、
ちゅうしやうてき おお たと いま ぶかい ぶかい けんとう し
抽象的なことが多かった。例えば今までしごと部会や、いろんな部会で検討していたけれども、市の
ほうに反映できなかった一事例みたいなものを、さっき送迎が少ないことに対して議論も持ったけれ
ども、それが市のほうに反映されなかった。じゃ、市のほうが反映できるとなったらどういうチャン
ネルがあればいいのかと、もう少し具体的なシミュレーションを持って議論したほうが、皆さん道筋な
どか確認できやすいのかなと思いました。

し わたし じぜん せつめい ぐたいてき なが そうてい
市のほうから私も事前に説明はいただいたんですけども、具体的な流れがちょっと想定できなか
ったので、これからつくっていくものなんだろうなと思って見ていました。なので、具体的にやれる
こととやれないことのシミュレーションができるような議論も中にあると分かりやすかったかなと思
いました。

でも、これからリアルな事例について皆さん方で考えていくということについては、とても大事な

機会なので、私も機会があれば参加させていただきたいなと思って聞いていました。期待しています。

ほんとう
本当にどうもありがとうございました。

【事務局】 ありがとうございます。そうしましたら、今日、皆様からこういった意見いただきまし

たので、追加の部分もありましたので、そこを反映できるような形を、市だけではなくて、事務局会議

の中でも見直し案を検討してきたところもございますので、例えばそこをもう一度皆さんの今日いた

だいた意見を反映させた上で次に進めるような形を取らせていただきたいと思います。

その中では、全体会を10月としていますけれども、新たなスケジュールの変更があれば、そこは

また改めて皆様の方と調整をさせていただければと思いますので、また個別にお声かけをさせてい

ただければと思います。

【事務局】 来年度は、これで始まるんですか、始まらないんですか。

【事務局】 これで始めさせていただければと、市のほうは今考えています。

【委員】 大事なポイントだと思うんですけども、それはそれで。今後の事務局機能の事務局とし

ての話合いの内容でとても大事なことになっていくと思うんですけども、その部分の話の経過と

か、そういったものの議事録の公開とかというのも併せて検討してもらえたらと。とても大変な話合い

をずっとされているとは思いますが。

【事務局】 分かりました。公開については考えてまいりたいと思います。

今日、御意見をいただきましたので、このたたき台の意見、御提案いただいた部分の反映もござい

ますので、ちょっと反映については1度市のほうで考えさせていただければと思います。

令和5年度からはこれをやりたいと思っておりますので……。

【事務局】 令和5年度はこれで開始するんですか、しないのですか。そういうことをここで決めるん

じゃないかと、僕は思っているんですけども。

【事務局】 そういうことです。

【事務局】 事務局としては、いただいたことで、令和5年度からはこの形にしたいと思えますけれ

ども、この形の仕組みでやらせていただきたいと考えております。

【事務局】 ということは、例えば令和5年の5月に、もう1回集まって、今日の意見を集約して、

改定したもので承認というのか分からないけれども、それで進むのか、その辺りはどういう話の整理
になっているのか。

【事務局】 全体会で結論を出すんだ、一つ一つ決定していくんだ、そしてしっかり進めるんだとい

うことを今ここからやるんだとしたら、今回提案したこの案について、全体会としてこの案自体を基に

進めていくというスケジュールでというのを、承認します、そうしましょうというのを、事務局とし

てやってきますというような言い方ではなく、ここの結論決定としたいと思います。

【事務局】 でも、やっぱり予算を持っているのは市だから、1回、市の偉い方とちゃんと考えてア

イデアを出して実現していかなければいけないので、やっぱり予算も考えないながら提案しなきゃい

けないし、私たちの部会の場合は、お金がないということがだんだん分かってきて、それで人づてに

こういう研究している人がいるよとあって、会長に相談して予算を組んでもらってということで、や

じつげん うご ひと
やっぱり実現するためにどうするかと動いている人たちもいるわけですよ。

ぶかい まった ぜんぜん おも ほんとう
しごと部会がしていないというわけでも全くないし、全然できていると思うんですよ。それは本当

だいいっぽ だいにほ だいさんぼい たい よさん
に第一歩のわけであって、第二歩、第三歩行くのに対して予算がつくつかつかないかというのは、やっ

し ぶぶん いけん おお おも じむきょくかいぎ かん いけん
ぱり市の部分の意見は大きいと思うので、この事務局会議のメンバーのことにしましてはいろいろ意見

あ すこ もんだい いけん あ き
がこうやって上がるということは、やっぱり少し問題があるから意見が上がっているような気がする

しやくしょ かたがた かんが けつきょく いま けてい
ので、それを市役所の方々に考えて、また結局この今の決定になるかもしれないですけども、1

かいも かせ がつ
回持ち帰ってもらって、5月でよろしいんじゃないですか。

じむきょく わ きょう こいけん わたし し いちども かせ
【事務局】 分かりました。今日、御意見をいただきましたので、私ども市のほうでもう一度持ち帰

はんえい あらた ごていあん きかい
らせていただいて、それを反映させたものを改めて御提案させていただく機会をつくらせていただ

おも
ればと思います。

いいん かいぎじたい はや おも いま ふたり
【委員】 ちょっといいですか。この会議自体、早くやめたほうがいいと思いますけれども、今お二人

はな ふく き われわれ もと
からお話しいただいた委員も含めてですけれども、ここで決めるということ、我々は求められてい

じむきょく おも
るかどうかをちゃんと事務局としておっしゃっていただいたほうがいいと思います。そうしないとみ

こんらん ど じむきょく かせ
んな混乱します。であれば、ここで1度事務局にお返ししますというのか、このままいきましょうと

だめ きのう とく もと じょうほう
いうのか、いやこれは駄目ですよというのか、その機能も特に求められていないのであれば、情報

きょうゆう お はなし おも
共有で終わりますという話だと思うんですよ。

かいぎ なに し ちと どうしょ か
ですから、この会議に何を市として求めているのか、当初のものでいくのか、これから変えていく

せいり いま ちやくちてん も たぶん
のかというところを整理していただいたほうが、今ちょっとどこに着地点を持っていったほうがいいか、多分

みな わ 皆さん分かりづらくなっているような気がするので、ちょっとすみません、間を取って意見をしました。

【事務局】 わ 分かりました。持ち帰らせていただく部分がありますので、そこを持ち帰らせていただいて、そこを反映させたものを改めて皆様に御決定いただくようなところを、改めて考えたいと思います。という形になりますでしょうか。

きょう いけん ふ はんえい れいわ ねんど がつ おも 今日いただいた意見を踏まえて反映させたものを、令和5年度4月からやっというかと思っただんですけども、今そこをきちんと反映して説明する部分をつくったほうがいいという御意見をいただきましたので、それができるような形を今日は取らせていただければと思いますが、よろしいでしょうか。

【事務局】 くわ き わ いま はなし う かいちょう さいごぜんたいかい 詳しい決まりなどはよく分からないのですが、今までの話を受けて会長が最後全体会に確認して、結論を出して終わりというところでどうでしょうか。

【事務局】 かいちょう 会長、いかがでしょうか。

【会長】 かいちょう ありがとうございます。ただ、国立市の位置づけというのはほかの市と違うんですね。

わたし さいしゅうてき けんげん くにたちし きていじょう たぶん 私のほうに最終的な権限があるのかどうかということなんですけれども、国立市は規定上、多分、ないんですよ。私は何のためにここにいるかということが、実は曖昧なことが去年分かったぐらいなんです。権限は市にあるのが国立市の自立支援協議会だということは確認したので、今、御意見をいただいて、私が采配をふるうということだったら喜んでくれるんですけども、そういう権限ではないのでしたよね。

【事務局】 今回の事務局が最終的な制度自体は市が持っているところになりますので、最終的に

決定する部分は市にあるといったところになります。ですので、そういう意味では、会長のほうで決

めるといようなことはなかなか難しいところがございますので、今言ったように、ちょっと整理さ

せていただく部分も今日は皆さんから御意見いただいて出てまいりましたので、そこを整理させてい

ただいた上で、また改めての提案をちょっと考えさせていただければと思います。

【委員】 当事者なんですけれども、当事者が制度とかお金とか予算とか言われても、自分には全く

分からなくて、しょうがいしゃの生活がよくなればいいんじゃないかという、取りあえずやってみて

駄目だったら変えていけばいいんじゃないかと思うんですけれども、どうでしょうか。

【事務局】 ありがとうございます。まず、進めるところを今日は御意見いただいたので、ちょっと

見直したものをまた考えて皆様にきちんと御提案を、今日のところはさせていただければと思いま

す。

中途半端な形になってしまって申し訳ないんですけども、ただ、皆さんに初めて御提案させていた

だいて、改めて御意見をいただきましたので、そこを反映させるような形でまた確認の御提案をさ

せていただいて、そのときに、今後このような形で進めていくというしっかりした御提案を、また改

めてさせていただければと思いますので、またそのところの開催については私どものほうで調整

させていただければと思います。

このような形になりますけれども、よろしいでしょうか。

時間も過ぎておりますので、今日の全体会についてはこちらで終了させていただきます。参加い

ただきました^{みなさま}皆様ありがとうございました。会長、^{とお}遠いところから^{おそ}遅い時間になりましたが、^{じかん}ありがとうございます。
ありがとうございました。

^{ほんじつ}本日はありがとうございました。